

JTB グループ、「オミックス・IoT・AI で健康と社会を最適化する 山梨ヘルスケア・セントラルシティ未来共創拠点」に参画

～「世界最大級の健康データ基盤」を活用し、交流が続けられる世界を目指す～

株式会社JTBと JTB グループでヘルスツーリズムや健康な街づくりに知見のある株式会社 JTB 総合研究所は、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が公募した「共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)未来共創分野(フェーズ 1)」にて採択された「オミックス・IoT・AI で健康と社会を最適化する山梨ヘルスケア・セントラルシティ未来共創拠点(以下:本プロジェクト)」に参画することをお知らせします。

■「共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)未来共創分野(フェーズ 1)」について

若手研究者をプロジェクトリーダーとするチームによって、ステークホルダーとの議論等を通じて地域の社会課題を見極め、当該社会課題の解決に寄与するグローバル水準の研究成果の創出と将来の自立的・持続的な産学官共創拠点の形成を目指すもので、49 件の申請応募中 3 件が採択されました。

JTB グループは、採択されたプロジェクトのうち山梨大学を代表機関(プロジェクトリーダー:大学院総合研究部 大岡忠生准教授)とする本プロジェクトへ参画します。

■JTB グループが本プロジェクトに参画する目的

JTBグループでは、お客様やパートナーの皆様に、旅行をはじめとした JTB のサービス・商品をいつまでも楽しくご利用いただくために、皆さまの健康の維持・向上に寄与したいと考えています。本プロジェクトに参画することで、JTB 及び JTB 総合研究所で進めているヘルスケア分野の研究を進化させ、オミックス¹・IoT²・AI を組み合わせた「世界最大級の健康データ基盤」を共に築き活用することで、健康寿命の延伸を実現させ、交流が続けられる世界を目指します。

世界最大級の健康データ基盤を中心に、地域と経済が持続的に発展していく



山梨発・世界へ広がるオミックス x IoT x AIによる住民主体型ヘルスケア未来共創拠点
— 健康情報基盤と行動変容モデルで地域と経済が持続的に発展する国際モデル都市の創出 —

■本プロジェクトの実施概要

1. 拠点名称:

オミックス・IoT・AI で健康と社会を最適化する山梨ヘルスケア・セントラルシティ未来共創拠点

2. プロジェクトリーダー:

大岡 忠生 山梨大学大学院総合研究部 医学域 社会医学講座 准教授
株式会社 Taomics(山梨大学発ベンチャー企業) 代表取締役

3. 副プロジェクトリーダー(3名):

赤岡 重人 山梨県中央市 副市長
金子 真吾 株式会社はくばく 市場戦略本部 開発部 部長
三友 周太 シミックホールディングス株式会社 Consulting and Navigation Unit. Principal

4. 代表機関: 山梨大学

5. 拠点運営機構 設置責任者: 市川 満 山梨大学 理事・副学長

6. 幹事自治体: 山梨県、山梨県中央市

7. 幹事機関: 株式会社 Taomics、株式会社はくばく、シミックホールディングス株式会社、 公益財団法人山梨総合研究所

8. 参画機関:

- (1)大学等:東京大学、東北大学、千葉大学、東京科学大学、九州大学、福島県立医科大学、
奈良女子大学、ハーバード大学、スタンフォード大学
- (2)企業等:グーグル合同会社、株式会社電通、大塚製薬株式会社、株式会社 JTB、積水ハウス株式会社、
株式会社東急、サーモフィッシャーサイエンティフィック ジャパングループ、
株式会社クスリのサンロード、株式会社日医工山梨

■本プロジェクトが目指す将来像

本プロジェクトでは、山梨県中央市を中心に世界最大級の健康データ基盤を築き、地域の皆さまとともに「病気になる街づくり」を進めていきます。これまで山梨大学が培ってきた山梨マルチオミックスコホート研究³を地域に実装して発展させることで、住民の皆さまが自分の健康情報を日常の行動に活かし、主体的に健康をデザインできる社会インフラを整備していきます。この仕組みが整うことで、街全体が病気になるように住民を見守り、住民の健康情報が自然と蓄積され、生活習慣病の予防や早期介入が地域レベルで実現します。結果として医療費の抑制や新産業の創出、生産性の向上につながり、地域経済そのものが持続的に発展していきます。

また、大学・地域企業・自治体が一体となって、「住民主体で健康を守る山梨モデル」を全国、そして世界へ発信し、他地域への展開も進めていきます。将来的には、品川駅から約20分でアクセス可能となるリニア新幹線・山梨新駅の周辺に、研究・産業・住民生活が有機的につながる「未来のヘルスケア拠点」を形成し、世界に開かれた健康都市として成長していくことを目指します。

(用語説明)

＊1 オミックス

遺伝子(ゲノム)、体内のたんぱく質(プロテオーム)、代謝物(メタボローム)など、体の状態を総合的に理解するための「分子情報のセット」を指します。血液などの検査から何千～何万もの項目を一度に測定し、病気のリスクや体質、体の変化を通常の血液検査よりも詳しく知ることができます。

＊2 IoT (Internet of Things)

スマートウォッチや健康家電、センサーなど、身の回りのさまざまな機器がインターネットにつながり、データを自動的に記録・蓄積する仕組みのことです。例えば、歩数・心拍・睡眠などのデータが自動的に集まり、健康管理に活かせるようになります。

＊3 山梨マルチオミックスコホート研究

山梨大学医学部社会医学講座の大岡忠生准教授が中心となって実施している、大規模な健康調査研究です。住民の方々から遺伝子・たんぱく質・代謝物などのオミックスデータに加え、生活習慣や IoT データも組み合わせることで病気の予防や健康づくりに役立つ新しい知見を生み出すことを目的としています。

【JST HP】

<https://www.jst.go.jp/pr/info/info1815/index.html>



株式会社 JTB

株式会社 JTB総合研究所

■報道関係の方からのお問合せ先

JTB 広報室 03-5796-5833(東京) 06-7222-0222(大阪)

JTB 総合研究所 お問合せフォーム <https://www.tourism.jp/contact/>